

-MCAP-CRとフォスター電機(株)名古屋式DBを複合したマルチバスレフ-

2013.10.13 高橋

-目標-

- ・小型ユニットを使用したSPの低域再生範囲を伸ばす。
- ・クセが少ない(ダクト臭が少ない)、低音を再生する。

-目標の達成方法-

- ・MCAP-CR形式(※1)とフォスター電機(株)名古屋式DB形式(※2)の複合化を検討した。
- ・吸音材を使わずに済むよう、平行面をほぼ完全に無くした。

-詳細-

- ・ユニット: ScanSpeak 5F/8422T03 (ステレオ誌 2013年8月号付録)

- ・主空気室: 1.75L、第1空気室: 0.95L、第2空気室: 0.8L

(主空気室=第1空気室+第2空気室)

主空気室と第1空気室をつなぐダクト: Φ18mm、長さ 74mm

(※2 計算における共振周波数: 68Hz)

主空気室と第2空気室をつなぐダクト: Φ18mm、長さ 67mm

(※2 計算における共振周波数: 77Hz)

第1空気室と外気をつなぐダクト: Φ20mm、長さ 60mm

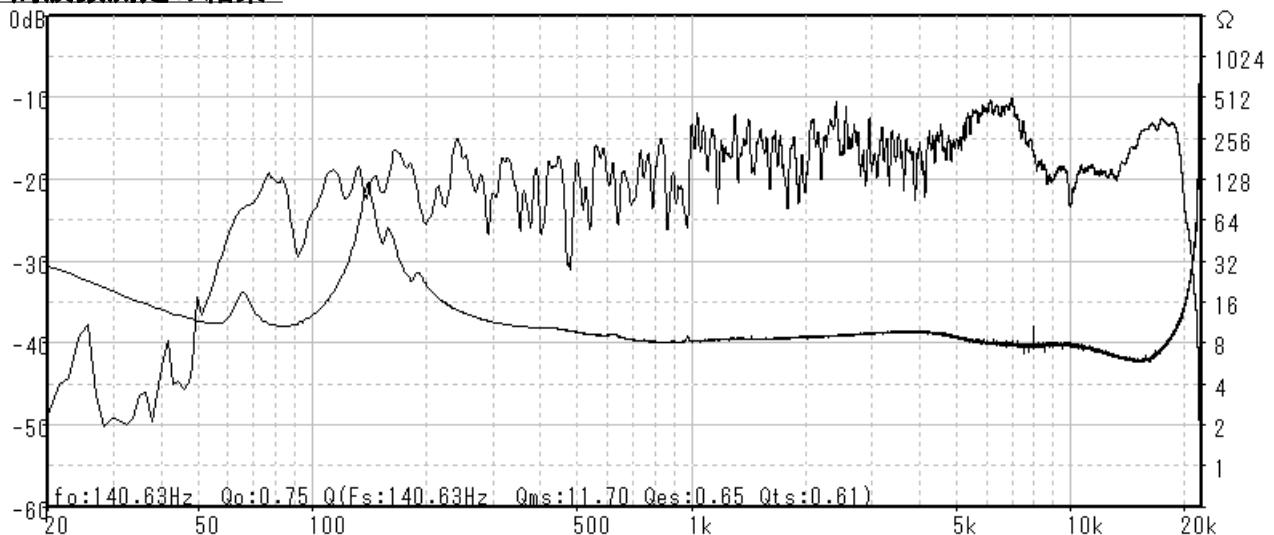
(共振周波数: 115Hz)

第2空気室と外気をつなぐダクト: Φ20mm、長さ 48mm

(共振周波数: 137Hz)

- ・塗装: 箱の内部および外部(カシュー塗装)、ユニットコーン紙(1cutのシュラック塗装)

-周波数測定の結果-

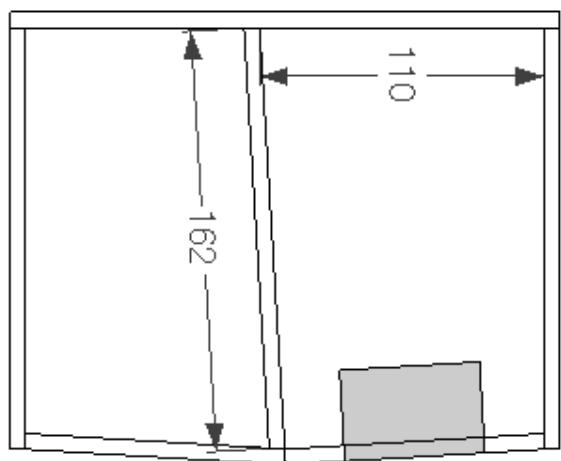


使用機材: 第2回公開オフ会詳細資料に記載の条件と同一(ユニット軸上 50cm、高さ 85cm)
インピーダンス測定時のみ、秋月電子電商TA7368使用小型アンプキット使用。

-参考資料-

※1: 特許第 5083703 号 特許公報

※2: ステレオ誌 2005年7月号、ステレオ誌 2010年11月号



板厚：6mm

